

■令和5年度第2回鹿嶋市総合計画審議会 議事録

令和6年1月23日(火) 10:30~12:00

鹿嶋市役所3階 会議室302

1. 開会

2. あいさつ

3. 議事

○会長

審議会規則第5条第3項にある通り、13名中9名が出席でございますので会議は成立しているということをご報告申し上げます。

それでは、議事(1) KPI及び指標等の進捗状況について、事務局よりご説明をよろしくお願いいたします。

— 事務局より説明 —

○会長

ただいまの事務局のKPI及び指標等の進捗管理について、ご質問・ご意見等ございましたら、委員の皆様、よろしくお願いいたします。

○委員

実際に具体的にこの事業においては、こういう評価をしてこう変えましたというのがあれば教えていただければありがたいなと思います。

○事務局

ふるさと納税がすごく分かりやすい例かなというふうに思います。令和8年に10億円を目指すところを目標としておりまして、そのためどういことをやらなければならないのかですけれども、年末にかけて、より駆け込みを行っていただくために、広告費を持っておりませんでした、12月に予算を取って、駆け込みの方を増やすという取組みを行ったところです。

あとは、返礼品につきましては、より1万円以上の品物が出るようにということで事業者さんと調整を行っているようなところでございます。

また、教育委員会が行っております、ALT関連予算の削減になります。現在、小学校にネイティブの先生を派遣し、英語の授業を行っていただいております。事業者に委託をして、ネイティブの先生を派遣していただくという契約を行っているんですけども、大洗町さんで先進的な取組みを行っている事業があり、海外の都市と姉妹協定を結んだうえで、その姉妹都市からALTとなる先生を派遣してもらおうという事業があります。これを行うと、かかる費用が地方交付税の算定基礎に入れることができるというものなので、これま

ですべて一般財源でやっていたものが、財源が確保できるというふうになるので、改めてはどうかという取組みにいま移っております。具体的にどこの都市と姉妹都市を結ぶかというのはまだ公表はできないんですが、現在そういう動きを取っているという状況でございます。

公共交通対策事業に関するロジックモデルについて、現在も公共交通に関する計画を策定しているところでございますが、面談の中で、公共交通は年間6～7,000万の財源がかかっており、これ以上お金をかけられないなかで、より満足していただけるためにはどういうふうに公共交通を回していったらいいかという議論になって、最終的には、鹿島地区大野地区それぞれの地区内で拠点を設けて、その拠点間で移動する公共交通をもっていき、その拠点の中では例えばライドシェアなど、福祉の観点ではなくまちづくりの観点で公共交通を考えていったらいいのでないかという議論があり、現在そういうふうに改めてはどうかというふうに動きが出ているところであります。

○委員

ふるさと納税について、年末に広告キャンペーンをうつということで、改善するにあたってどういうアウトカム・インパクト評価などをされたのか参考までに教えていただきたいです。

○事務局

ふるさと納税は、中間評価で約4,000万ということで、最終的には広告を打ったからかどうかというところも含めてなんですけど、12月末時点で約1億2,300万円の寄附が集まりました。

アウトカムは、この金額が実際に広告のインパクトとしてこれが現れたのかどうかというところは、引き続き検討しなければならないと思います。実際、金額の結果としては出ているんですが、何が1番効くのかというところは今後、事業者さんやふるさと納税を専門にプロデュースしているような事業者さんにお聞きしながら、どういうものが効果的なのかは検討していきたいなと思います。

○会長

他にいかがでしょうか。

— 質問なし —

○会長

それでは、議題1のKPI及び指標等の進捗管理については以上とさせていただきます。続きまして、オンラインコミュニティについても事務局より説明をお願いいたします。

— 事務局から概要説明 —

— クオン株式会社から説明 —

○会長

ただいまのご説明に対して、ご質問、ご意見等はございますか。

○副会長

始まって2年で累計の登録が42,000人というのと発言数は、クオンさんからすると、この傾斜は非常に良い傾斜なのか、まだまだ足りないのか、足りないとするとなんが足りないのかなど、その辺はどのようにお考えか教えていただきたいなと思います。

○クオン株式会社

これまでコミュニティを300強ほど運用してきておりますが、それらの傾向と比較しますと、2年間で規模が42,000人というところに関しては、標準より少し高い推移をしています。考察としては、鹿嶋市さんそのものもそうなんですが、地域のコミュニティというところに対して目を向ける人、登録されている若い方々が関心を持つようになってきているというところが実態としてあるかなと思っています。

発言数の1万件に関しましては、他社と比較するとちょうど平均くらいです。カラフルベースをアップデートしていくためには、鹿嶋市の中の方々、鹿嶋市について語れる方々が、当コミュニティに今後はより積極的にご参加いただくことで、鹿嶋市の魅力自体も語っていただき、そこに反応する方々も増やしていく構図が作れたらなというふうに思っているところでございます。

○副会長

より伸ばしていくためには、地域の方への周知がまずはベースとして必要だということなんでしょうか。

○クオン株式会社

鹿嶋市の外の方々、そして一緒に共創活動をしてくれるような少し濃い方々も生まれてきているというところなんですけれども、実際に鹿嶋市の中での取組みに還元していくという意味では、地域の皆様への認知というところは今後強化していきたい。

○副会長

このサイトをもっと傾斜を上げていくためには、こういった施策を打つことっていうのが具体的にあれば最後に聞きたいです。

○クオン株式会社

1つのコミュニティだけではなく、色々なコミュニティと掛け合わせて価値を創出していくことが、今後のさらなる発展にとって必要になってくるのかなと思っていて、今、当

社が運用しておりますコミュニティモールにおいては、一般の民間企業さんも含めて60以上の団体がございます。今後、そういった企業様のコミュニティとも積極的にコラボをしていくことで、より関心を持っていただくかをベースに、そういった方々を増やしていけたらというふうに思っております。

○会長

他にいかがでしょうか。

○委員

避難所の混雑状況の見える化などがあると思いますけど、そういったものをどこまで市民に浸透させるのか、何かあったらここを見に行きなさいですとか、そういった浸透活動というのをやったほうがいいのかと思いますので、お年寄りはそのことに知識やスキルがないというのもありますので、そういったことのサポートをするなど全体的な鹿嶋市のDXのレベルを上げていく、市民全員参加型のものを考えていただけるとありがたいと思います。

○会長

貴重なご意見ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

細かい話で恐縮なんですけど、データ分析はどのようなツールを使っているのでしょうか。

○クオン株式会社

ツールはすぐにはご回答ができかねる内容でして申し訳ございません。

○会長

人数を絞った中で差分が出てきているということは、より色々な分析ができるなど思っ
て見ていたところでは。

他にいかがでしょうか。

— 質問なし —

それでは、オンラインコミュニティに関しては以上とさせていただきます。

最後、その他で何かございますでしょうか。

— 特になし —

それでは、議題については以上となります。これ以降の進行については事務局にお返し
いたします。

○事務局

長時間にわたりまして、議事進行誠にありがとうございました。

以上をもちまして、令和5年度第2回鹿嶋市総合計画審議会を終了とさせていただきます。誠に疲れ様でした。ありがとうございました。